

ねりいた 練板ベー通信

2019年12月10日 vol.202

練馬板橋ベーゴマの会

作：夕陽のヤスジ



松ちゃん一人旅で永世NIB王

朝から青空が広がった板橋平和公園で、12月8日(日)「第二十三期NIB王戦」が行われ、松ちゃん、しゅう、タイキローの3名による決勝戦となり、38対13対5のスコアで松ちゃんが圧勝した。松ちゃんが前回NIB王戦で優勝したのは2006年、何と13年振りの優勝だ。これに2004年の優勝も含め、3回目の優勝で永世NIB王の称号を手に入れた。すでに永世トライアスロンを手に入れている松ちゃん、これに続いて二つ目の永世獲得だ。



松ちゃん、しゅう おめでとう！

松ちゃんと当たるとみんな落ちていく

NIB王戦は3人同時入れのキャプテン得点倍付け制だ。相性の良さあしがあるのでは、誰と当たるかが重要なポイントになる。

今回は絶好調だった松ちゃんと当たった面々がことごとく討ち死にした。予選ではイッサだ。1次予選で18ポイント奪い、楽勝と思われたイッサだが、2次予選ではたったの1点しか取れず敗退だ。驚異的な強さで予選をトップ通過した松ちゃんは、2位に19点差をつけて決勝ブロックに進む。ここで痛い目に遭ったのは、ソウタパパ、カイヤ、ほん魂だ。ソウタパパは0点、カイヤは2点、ほん魂でさえ4点しか取れず落ちていく。カイヤは1回戦で16点取ったのに惜しかったね。



NIB王戦得意のタイキローも及ばず

こうして準決勝に進む9人が決まり、3ブロックに分かれる。しゅう、ソウタ、平井おやぢの3人、ハルク、もんこ、タイキローの3人、松ちゃん、ギャオじい、マックスの3人だ。

運が悪いのはギャオじいだ。ティア1の二人に挟まれ勝つすべが見つからない。「えーい、ままよ」と投げ入れるとパッカンの連続「これは黄色狙いだな」と松ちゃんが呟き狙いに来る。黄色とはギャオベーだ。標的にされたギャオじいは何とか入れ処を替え防ごうとするが、それでは出せない。哀れ終わってみれば6点しか奪えず敗退だ。あおりを食らった永世NIB王マックスもここまで。松ちゃんが決勝戦に進む。他の2組はしゅうがソウタを振り切り、タイキローがハルクを置き去りにし決



勝戦に駒を進めた。

タイキローは前回の NIB 王戦でマックスと同点決勝になり、惜しくも床外しで敗れている。それでもマックス、松ちゃん相手に五角の勝負をしたのだから、NIB 王戦を得意にしているのだ。

しかし、今日の松ちゃんは手が付けられない強さだった。始まると 3 回投げて 18 点、いきなりトップギアだ。負けじとしゅうが 10 点、タイキローが 5 点取り返すが、それをあざ笑うように松ちゃんがキャプテンで 12 点取り 6 回投げてすでに勝負あった。さらに 8 点加えた松ちゃんが 26 点で NIB 王だ。おめでとう松ちゃん。それにしても強かった。

子ども王はしゅう、女流王は該当者なし

子ども王は決勝ブロック 1 位通過、準決勝でソウタを破り、決勝戦で一時松ちゃんに迫ったしゅうだ。子どもで NIB 王戦の決勝戦に進んだのは、2012 年のソーカツ以来 9 年振りだ。強かったねしゅう、おめでとう。女流は石川ママとソウタママの二人が、決勝ブロックでソウタと当たり敗退。準決勝進出者はいなかった。

2019NIBパロンドールは僅差でソウタ

さて、注目の 2019NIB パロンドールだが、先月 2 位のマックスに 2 ポイント差をつけたソウタが 29P、マックス 27P、3 位の松ちゃんが 22P でこれを追うが、最終 12 月のポイントは倍付けになるので、3 位の松ちゃんの逆転もあった。その松ちゃんが今回優勝したので、10 ポイント獲得し 32P。ソウタとマックスが準決勝 2 位で 4 ポイントプラスされ、それぞれ 33P、31P となった。1 点差違いで 3 人が並ぶデッドヒートをソウタが競り勝ち、初の NIB パロンドールに輝いた。まあ、5 回優勝したのだから、当然と言えば当然だが、無冠のマックスがパロンドールになる可能性もあったので、大いに盛り上がりました。



ソウタ、今期ガチホンコ有終の美

やっぱり 2019 年はコイツだ、ソウタだ。グラチャン枠を 5 つも取り、グラチャン第一候補のソウタが、最終戦ガチホンコも持って行った。カイヤ、ソウタママ、しゅう、ソウタパパを寄せ付けず、順当勝ちだ。今期 2 度目、通算 6 度目の優勝で全部取りだ。学習機の引き出しがベーゴマでいっぱい、どれだけ取れば気が済むんだか。

